

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本専攻では、本学の定める修業年限以上在学し、次のような能力・資質を備えた上で、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の意見を聴いて、学長が課程修了を認定します。課程修了が認定された者には、修士（教育学）の学位を授与します。</p>		<p>本専攻では、本専攻が掲げる教育目標とディプロマ・ポリシーを達成するため、「教育哲学・思想史分野」「教育方法・教育経営分野」および「幼児教育・保育分野」の3分野にわたって広く学べるように、必修科目、選択必修科目および選択科目からなる教育課程を編成します。</p>	<p>本専攻修士課程は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた人を求めます。</p>
1. 知識・理解	1-1	国内外の教育・保育をめぐる状況および現代的課題の理解のための高度な教養を有している。	<p>本専攻が求める学力を有し、明確な目的意識を持って教育・保育職の高度専門職者をめざして研究に励もうとする意欲のある者を広く受け入れます。その中には、現職として教育・保育職に従事し、大学院での学修によって教育・保育実践の高度化をめざす者も含まれます。</p>
	1-2	教育・保育に関して、高度な専門的知識を有し、課題解決に向けた多様な実践や方法を理解している。	
2. 技能・表現	2-1	教育・保育を研究するために必要な能力を有し、新たな知見を学術的な観点から表現することができる。	
	2-2	教育・保育の研究および実践に関わっている多様な人々と主体的にコミュニケーションをとり、連携・協働することができる。	
3. 思考・判断	3-1	国際的視野を有し、高度な批判的思考力および創造的能力を用いて教育・保育を洞察することができる。	
	3-2	教育・保育に関する課題解決に向けて、様々な情報を統合し、論理的で合理的な判断ができる。	
4. 態度・志向性	4-1	教育・保育の価値を自覚的に志向し、それを実現するための熱意と責任感を有している。	
	4-2	教育・保育に関して、生涯にわたって学び、探究し続ける強い意志を有している。	
		<p>必修科目では教育の研究のための基礎的な理解を得ること、選択必修科目では教育の研究に必要な知識や技法などに習熟すること、選択科目では講義と演習を組み合わせて教育のさまざまな問題領域に関する洞察、理解、探究を深め、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して専門知識や能力を身につけることをめざします。それらの学習成果を総合し応用するために修士論文の執筆を求め、修了年次末に提出する修士論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	